



低炭素社会の実現に向けて

～令和・新時代の廃棄物処理～

平成時代の廃棄物処理は1980年代のダイオキシン類対策に始まり、1990年代の豊島産業廃棄物不法投棄対策、2000年代からのPCB廃棄物処理等で、深刻な廃棄物問題を解決してきた30年だったといえます。

これからは関係者が連携・協力して廃棄物を物質資源、エネルギー資源として活用する地域循環型共生圏を構築し、地域を活性化させる廃棄物処理施設の高付加価値化が試みられるでしょう。

そこで今回のシンポジウムでは皆さんと平成の廃棄物処理を回顧しながら「令和・新時代の廃棄物処理」を展望します。

大阪会場 11/19(火)
13:30 ~ 16:30
(受付開始:12:00)

東京会場 11/29(金)
13:30 ~ 16:30
(受付開始:12:00)

大阪府社会福祉会館 401号室
〒542-0012 大阪府中央区谷町7-4-15

江戸東京博物館 大ホール
〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1

【定員】 各会場150名 (申込締切:大阪11/18(月)、東京11/28(木) 定員になり次第締め切らせていただきます。)

【参加費】 協賛団体、協力団体会員:5,000円 非会員:10,000円 自治体職員:4,000円 学生:3,000円

※参加費振込後のキャンセル、参加費の返還はお受けできません。代理出席等にてご対応下さい。欠席の場合も参加費の返還は致しませんので、ご了承下さい。

主催:(株)廃棄物工学研究所 特別協力:公立鳥取環境大学 後援:環境省(申請中)

協賛:(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公社)全国産業資源循環連合会
(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(公財)廃棄物・3R研究財団、(一社)プラスチック循環利用協会

協力団体:(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)日本産業機械工業会
(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)廃棄物資源循環学会、有害・医療廃棄物研究会
ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、産業廃棄物処理業経営塾、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム、(一社)日本ガス協会

プログラム

13:30 開会の挨拶「令和・新時代の廃棄物処理」

(株)廃棄物工学研究所代表 公立鳥取環境大学客員教授 田中 勝

13:50 基調講演:一般廃棄物行政の今後

環境省 環境再生・資源循環局 適正処理推進課
課長:名倉 良雄 氏(東京)、課長補佐:大沼 康宏 氏(大阪)

14:20 地方行政解説:仙台市のごみの処理施設の延命化、災害廃棄物の活用、廃棄物の資源化の取組

仙台市 環境局長:遠藤 守也 氏(東京)
環境局 施設部 施設課長:小和田 圭作 氏(大阪)

14:50 休憩

15:00 特別講演:地域の産業廃棄物等を広域的に処理する廃棄物資源化構想

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団
資源循環推進部 部長:山脇 敦 氏

15:30 技術解説:我が国の廃棄物処理施設からの熱利用などの高付加価値化の事例

(一社)日本環境衛生施設工業会 技術委員会
委員長:増田 孝弘 氏(東京)、副委員長:田中 朝都 氏(大阪)

16:00 パネルディスカッション

「低炭素社会の実現に向けて
～令和・新時代の廃棄物処理～」

コーディネータ: 田中 勝 パネリスト: 上記講演者

16:30 閉会

※やむを得ずプログラム・講演者が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お申込み方法

- ① Web上の案内に従って申込フォームからお申し込み下さい。 <http://www.riswme.co.jp>
- ② Web申込が行えない場合、裏面の申込用紙に記載の上、E-Mailにてご送付下さい。 info@riswme.co.jp
- ③ ①②が行えない場合はFAXにてお申込を受け付けております。FAX番号:086-239-5303

お振込先

りそな銀行 芝支店(普)1490768 カハイキブツコウガクケンキウシヨ

参加費は振込(大阪:11/18 東京:11/28までにお手続きをお済ませ下さい)にてお願い致します。

また、お振込いただく際、振込人名義は「受付番号+参加代表者氏名」としてください。

振込手数料は参加者各自でご負担願います。

※参加費振込後のキャンセル、参加費の返還はお受けできません。代理出席等にてご対応下さい。欠席の場合も参加費の返還は致しませんので、ご了承下さい。